

公明[☀]こうち

市議会ニュース

発行所／高知市議会公明党
 住所／〒780-0870
 高知市本町5丁目1番45号
 TEL:088-823-9403
 FAX:088-871-2485
 2009年(平成21年)8月1日 第9号
 高知市議会  NEW KOMENTO 公明党

岡村康良議員は、直面する財政破綻を回避する根本的な解決課題は情報の共有であると指摘し、庁議の全面開示と伝達及び定例会毎の市長の施政方針及び所信演説等々の重要性を訴え、市民への説明に関する市長の政治姿勢について、一問一答方式で質問致しました。

市長からは、窮状する本市の財政状況について、市民に直接対話方式で説明する機会が遅れた事に対して率直な反省の弁があり、市政の情報の共有化の重要性に関し、庁議等の公開の範囲については論議の余地を示し乍も、先進自治体の取り組みを参考に、ホームページでの公開等、情報伝達の強化の検討に早急に取り組み実施していくとの答弁がありました。

さらに、官庁会計では起債発行による借入金等も収入にカウントし、単年度の収支決算で剰余金が出れば黒字財政と表現される事などから、市民には理解しづらく、結果として夕張市に至るような事態を招いたと指摘し、公会計制度の改革を促し、22年度中の改革を約しました。

また、職員の健康面から、時間外勤務等適正な人事管理についても質しました。



おかむら やすよし 岡村 康良 議員

高木妙議員は、国が予算化して行う「子宮頸がん」と「乳がん」の検診で、一定年齢の女性に健診手帳と無料検診クーポン券が配布される事業の、本市での迅速な対応を求めました。また、21年度予算で凍結となった下知図書館の改築については、「優先順位」の低い事業なのか、様々な財源を示しながら市長の審議即を糾しました。

市長からは、「重要な事業であることは充分認識しているが財源の確保が出来なく、苦渋の選択であった」と、今後の予算確保について答弁がありました。また、弥右衛門の「鉢さい」撤去と防災公園計画については、次のような答弁を引き出しました。

問 「鉢さい」撤去の計画を示せ。

答 財政事業の課題はあるが平成26年度末には完了する予定。

問 今後の責任ある対応について伺う。

答 区画整理事業完了後も市の事業として最後まで完全に処分する。

問 公園計画を具体的に示せ。

答 弥右衛門公園は4分の広さを有する近隣公園であり、国庫補助事業として整備を進める予定。事業期間は概ね5年。第1期、第2期に分けて整備を進める予定。



たかぎ たえ 高木 妙 議員

山根堂宏議員は、第415回(日21・6月)定例会の一般質問で、教育行政、市施設の地デジ対応、ヘリポートの整備について、今議会から試行された一問一答方式で質問しました。(以下、内容要旨)

1、教育行政と予算執行

- 議会答弁と行政対応
- 事務事業執行における事実確認
- 教育委員会職員の資質向上
- 学校施設の地デジ対応について
- 受信施設の改修の施工計画と経費
- 不適正支出と予算編成の課題
- 予算執行の適正なあり方

2、部局横断の全庁的な推進の事業

- 事業の決定と推進のプロセス
- 施設の地デジ対応について
- 推進の体制作りと関連部局との協議
- 市施設の受信施設改修調査と整備
- デジタルテレビの整備等

3、救命救急活動におけるヘリポート整備について

- 救命救急におけるヘリ搬送の実態
- 中山間地域におけるヘリ搬送体制
- 高度・専門医療機関が集中する本市のヘリ整備と課題



やまね たかひろ 山根 堂宏 議員

寺内のりよし議員は、財政再建のため新たに市民負担を求めようとする岡崎市長に対し、国政で公明党が推進してきた緊急経済対策の一つである中小企業向け融資制度「緊急保証制度」や雇用対策の「雇用調整助成金」等の高知市における活用状況を質したうえ、今だけだけ市民生活が大変な経済状況にあるか市長の考えを糾しました。

次に、技能労務職員(学校給食調理員・ごみ収集作業員・学校用務員・自動車運転手など)の給与改正につき、具体的な運用も決まっていない中、拙速に条例議案が提出され、しかも改正内容が、技能労務職員の給与基準を市規則で定めることとする、議会が関与できない市長への包括委任の形となっていたことから、議会の審議権を巡り、市長・執行部と激論を交わし、職員に甘い市の体質を糾しました。

市長方針が示された新たに市民負担を求めようとする家庭ごみ有料化については、環境部が説明するごみ減量が目的なのか、市長が説明する財政再建が目的なのか、市民に矛盾した説明をし、ごみ有料化に走る市の姿勢を糾しました。



てらうち のりよし 寺内 のりよし 議員

第415回 高知市議会定例会 公明党が推進した一問一答方式で論戦を展開!

女性特有のがん対策について

国の2009年度の補正予算に、女性特有のがん対策の一環として、「子宮頸がん」と「乳がん」の検診無料クーポン券付き『がん検診手帳』の配布が盛り込まれたことを受けて、今議会でも個人質問で取り上げ、本市における配布実現も、着実に前進しています。

対象者

乳がん検診：(昨年4月2日〜今年4月1日までの間に)40歳、45歳、50歳、55歳、60歳になった女性

子宮頸がん：(おなじく)20歳、25歳、30歳、35歳、40歳になった女性

乳がん

40~50歳代の女性に多くみられ、この20年間で、約2倍に増加しています。

国際基準であるマンモグラフィでの検診により、多くの先進国では死亡率が低下していますが、現在わが国における受診率は、たった2%程度にすぎません。

早期発見が何より大切な乳がん。40歳を過ぎたら年に一回は検診を受けましょう。

子宮頸がんとは・・・

特に、20~30歳の若い女性に急増しているがんで、自覚症状がないため発見が遅れ、現在国内では、年間7,000人が発症し、2,400人をこえる大切な命が失われています。

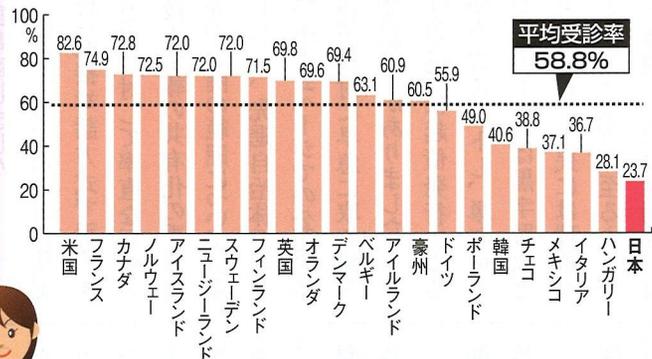
しかし、この子宮頸がんはほぼ100%、検診等で予防できるがんであることが知られています。

一方、諸外国での検診受診率をみると(右グラフ)アメリカやフランスでは、70~80%であるのに対し、日本では23%と非常に低い受診率となっています。

進行が早い若い世代に多いがんだからこそ、20歳になったら、定期的な検診を受けましょう。

私達公明党市議団は女性の健康をまもるために、高知市の受診率の向上をめざし、取り組んでまいります。

OECD加盟国の子宮頸がん検診受診率



※「OECD Health Working Paper No.29」より抜粋



~第415回定例会を振り返って~

今議会で、公明党市議団が提案した3件の意見書が、全会一致で採択されました。内容は以下のとおりです。



- ① 経済危機対策などに伴う地方負担の軽減を求める意見書
- ② 細菌性髄膜炎から子どもたちを守るワクチンの早期定期接種化を求める意見書
- ③ ハローワーク機能の抜本的強化を求める意見書

特に②の意見書については、乳幼児にとって極めて重篤な感染症である、細菌性髄膜炎の主な原因菌である「インフルエンザ菌b型(ヒブ)」に対して、ワクチンの定期接種による予防対策を求めるものです。

現在、任意接種であることから、4回の接種に3万円前後の費用がかかる実情を踏まえ、定期接種化による負担軽減などの早期の対策を、国に対して強く求める内容です。

DV被害者 特例給付金事業

DV被害者とその同居する家族が、住民票を移動せずに、加害者から避難している場合、5月から支給となっている「定額給付金」と「子育て応援特別手当」を受給できない可能性があるため、高知市として単独事業で、生活支援・子育て支援を行うことになりました。

受給資格について

- ① 定額給付金等を受給できないDV被害者と同居する家族で、平成21年2月1日に高知市に居住していた方(光熱水費等の領収書・賃貸借証明書などを持参)
- ② DV相談の公的機関の証明がある方(高知県女性相談支援センター等)

支給内容

- ◇DV被害者等生活支援金(定額給付金相当)
 - 1人12,000円
 - ただし基準日(2月1日)に65歳以上・18歳以下の方は20,000円
- ◇DV被害者子育て支援手当(子育て応援特別手当相当)
 - 子育て応援特別手当の支給対象となる子ども 1人につき36,000円



今夏、高知を舞台とした映画「はりまや橋」や「いけちゃん」と「ぼく」が全国公開され絶大な評価を得ています。銀幕に映し出された映像からは常日頃から親しまれている土佐の風景や素朴な人情がにじみ出ており、改めて「土佐の魅力」に感動するとともに再発見することができました。

ここ数年、全国各地で映画撮影のロケ地に注目が集まっており「フィルム・コミッション」が活発に行なわれております。地元ロケによる映画のPRは交流人口の拡大に大きな効果があり、多数の観光客が訪れることが見込まれます。

「フィルム・コミッション」活動は観光振興・文化振興及びその経済効果が期待されており今後、観光産業の中心的役割を果すのではないかと注目を浴びております。私たちの身近な「生活・風景・人情」等が映画の名シーンとなり全国、いな世界の人々の眼に注がれ、感動と共感を生む。想像をめぐらしただけでも心が躍ります。いよいよ明年からは大河ドラマ「龍馬伝」が全国放映されます。皆さんも期待に胸が膨らんでいることでしょうか・・・

今後の高知の「フィルム・コミッション」に目が離せない。(志)